

全 員 協 議 会 記 録

令和2年4月14日(火)
9時59分～12時32分
本会議場

〔出席議員〕

川神議長、佐々木副議長
三浦議員、沖田議員、西川議員、村武議員、川上議員、柳楽議員、串崎議員、
小川議員、野藤議員、上野議員、飛野議員、笹田議員、布施議員、岡本議員、
芦谷議員、永見議員、道下議員、田畑議員、西田議員、澁谷議員、西村議員、
牛尾議員

〔執行部〕

市 長、副市長、金城自治区長、旭自治区長、弥栄自治区長、三隅自治区長、
教育長、総務部長、地域政策部長、健康福祉部長、市民生活部長、産業経済部長、
教育部長

〔事務局〕 局長、次長、議事係長

議 題

1 新型コロナウイルス感染症対策について

2 その他

【詳細は会議録のとおり】

川神議長

ただいまから令和2年4月14日の全員協議会を始める。本日は牛尾昭議員から欠席の連絡を受けているので報告しておく。

本日は議会側から、新型コロナウイルス感染症対策について説明を求めるために召集を行ったのでよろしくお願いする。

なお本日は感染予防の観点から、三密を考慮し、より広い空間、換気可能な部屋、マイクの使い回しを防ぐといった観点から、全員協議会室ではなく本会議場での開催とした。また、ご覧のとおり執行部からの出席者は最小限の人数としていることを報告する。

実はこの全員協議会開催について、議員の皆から、質疑応答の場所、最新情報を市民の方に報告するために情報共有したいという強い要望があった半面、集まること自体がどうなのかということもいろいろ聞いているが、総合的に判断して可能な限り感染防止対策をしながら、今回の全員協議会開催に至ったことをご理解いただきたい。

後程報告を受けるが、一括してその後に議員からの質疑を受けたい。その際にはできるだけ短い時間で終了したいため、簡潔な質問をしていただきながら、皆の疑問を解いていただければと思うので、運営にご協力をお願いする。

では議題に入る。

1 新型コロナウイルス感染症対策について

川神議長

市長の発言を求める。市長。

久保田市長

(以下、資料をもとに説明)

総務部長

(以下、資料をもとに説明)

健康福祉部長

(以下、資料をもとに説明)

市民生活部長

(以下、資料をもとに説明)

産業経済部長

(以下、資料をもとに説明)

教育部長

(以下、資料をもとに説明)

川神議長

新型コロナウイルス感染症対策に関連した部長からの説明を受けた。これ以降、議員からの質疑を受けたい。挙手をお願いする。

西川議員

市民の関心事は、新型コロナウイルス対策だと思う。市民からの声を聞くに、市からメッセージがないことで、すごく不安に思われている方がたくさんおられる。市は今どういう状況でどういう対策をとっているのか、市からのメッセージが欲しいと思われている。

例えば具体的に言うと、4月7日、国の非常事態宣言が出された翌日、松江・出雲等自治体の市長はメディアやSNS、防災行政無線等で直接メッセージを伝えられている。その時に浜田市長が何をされているかと思えば、翌日の新聞には松江に行かれて県知事に挨拶、合銀の頭取に挨拶ということが新聞紙面に出ていた。少し残念に思った。

その翌日、市長の明確なメッセージがやはり欲しいと思っていたのだが、歴史本の記者発表をされていた。市民がもっと聞きたいのはそういうことではなく、今、市がどういう状況なのか、市長の明確なメッセージが聞きたいと思うのだが。今日この報告を受けて、今後市長から、市

民が安心できるような対応のメッセージが是非必要だと思うのだが。ケーブルテレビでも良いが、対策に関するお考えはないか。

久保田市長 確かに市民の皆に首長としてしっかりとメッセージを伝えるのは大切なことだろうと思っている。今ケーブルテレビで収録の準備をしている。明日収録日の予定であり、その原稿等を準備している。

西川議員 市のホームページ等にも掲載する準備もしている。今後市民の皆さんにもその辺をしっかりとお伝えしていきたい。

西川議員 ご対応いただけるとのことで嬉しいのだが、これはタイミングなので。日々刻々と変わるこの状況で市民の方は不安になっている。もう機を逸した感はあるが、収録と言わず生放送でも結構なので、是非市民に適切な時に適切な情報を提供していただきたい。よろしく願います。

布施議員 今の西川議員の指摘は大変重要だと思っている。こういった案件は緊急的に、即座にするべきだということを最初に強く申し上げておく。その上で、新年度になって各町内の役員が変わっている。行政連絡員も新しくなった方がおられて、前年度の役員からの引継ぎの中に、市のやり方についての連絡はあるのだが、こういった時の対応の連絡事項がなかなか徹底していない。市民が不安になっているのは、感染者が出た場合の医療機関の対応についてである。先ほど健康福祉部長が、感染症対策施設は県内8か所あると言われた。これは浜田医療センターが含まれているのか、そういった報告はない。呼吸困難になった場合に使うECMO、これが日本全国で不足している、なおかつ病床数が少ないことも指摘されている。そういったところの報告もない。

また、総務部長、マスクが底をついたとのことだが、それに対する市の対策について報告がない。これもやはり、報告される以上は次の政策または取組をしっかりと報告した上で、市民の方に理解してもらうことが大事ではないかと思っている。

産業経済部長、先ほど、各イベントが中止だとか検討という報告があった。浜田市での対応は休止で理解いただけると思うが、東京都で8月に行われる国立劇場の検討は、市が決めるものなのか相手先が考えて決めるものなのか、いつまでに決めるのかといった検討内容に関する報告がなかった。

最後に、昨日か一昨日、我が娘のところに市民アンケートという形で浜田市内の方が、健康状態のLINEを流された。こういったことが市において把握されているのか、お伺いする。

川神議長 今の質問について、随時、部長から答弁をお願いします。

砂川副市長 各部に関わっているものではあるが、まとめて私から答弁させていただき、残りをまた担当部から回答する。

まず緊急的に市長のメッセージ、確かなかなかできていなかった。先ほど西川議員からもお話があった。ホームページについては今日、早速メッセージを掲載するようにしている。

これまでも各部から情報提供はしていたが、おっしゃる通りに市長からのメッセージは大きいものだと思っている。そのことは反省しており、今朝市長と協議し、メッセージを載せるようにしている。今後も必要に応じて市長メッセージを更新しながら、市民の皆に市長からも呼び掛けをするような努力をしていきたい。

行政連絡員への情報提供等についても、今後また必要な情報、特に先ほど、感染症の該当者、発症者があった場合は、基本的に浜田保健所、医療機関を中心にやることになるが、市としてはそういう情報をきちんと市民の皆にお伝えすることが重要だと思っているので、そのような対応を県なりと連携してやっていきたい。

感染症の指定病院のことだが、現在、県内30床が確保されている。新聞等に出ていると思う。その中で浜田医療センターについても指定医療機関として4床確保されている。これは公表されている。県内西部では大田・浜田・益田でそれぞれ4床ずつで12床あるということで、県東部16床、隠岐が2床となっている。基本的には浜田圏域で発生した場合には浜田医療センターが窓口になると思っている。

ECMOについては確かに機械はあると聞いているが、ただこれはスタッフもかなり必要だとのことで、テレビ等でもやっているように、この詳細についての情報は、混乱を招くこともあるということで、医療機関からもこの辺の情報提供は難しいと聞いている。必要に応じて対応していただけるものと考えている。

マスクの対応については、私が総務部長時代も在庫のこと等を説明させていただき、可能な範囲で市民の皆に提供させていただいている。かなりマスクの在庫がなくなったということで、皆のご協力、議員からも情報提供をいただき、追加のマスクを何とか今月中には数万枚確保したい。布マスクも市内の縫製工場等も調査したが、なかなか対応していただけないとのことで、市外で対応できそうな縫製工場もあるとのことなので、そういうところをお願いしたいと思う。

ただ、マスクは、これはあくまで緊急事態、例えば発症した時に医療機関や該当施設等に配布したりということなので、購入しても市民の皆に配布することはもう難しい状況であることはご理解いただきたい。国が1世帯に2枚ずつ、布マスクを配るということもあるので、あとは自分で。市としても、マスクの作り方というチラシをいろいろお配りさせていただいているので、それぞれでなるべくご努力いただき、市としてもできる限りのことはさせていただくが、集団感染をしないことが重要なので、そういう面では市が購入するマスクは有効に使わせていただきたいと思っている。

イベント状況だが、国立劇場については市長から回答させていただく。

久保田市長

国立劇場における石見神楽の講演の件だが、現在まさに検討している最中である。今日のところでは方針についての回答を控えさせていただきたいと思う。感染拡大の話もあるし、神楽を演じる団員の確保の問題等々、総合的に考えている。私が実行委員長をさせていただいている、副委員長は東京におられる。早急に、どうするのか協議決定したいと思っている。

川神議長

布施議員から、LINEの健康アンケートの質問が出たが、こちらに関してはいかがか。

砂川副市長

市民アンケートは、市がお願いしたものではない。最近、他の自治体でも回覧があった等いろいろあるが、それは正しい情報が伝わっているということではない、あくまでも市がお願いする時はこれまでもお願いしているように、行政連絡員や、町内には浜田市長が依頼したことを明

記してお願いしているのですが、それ以外のものについてはそうではないものと認識いただければと思う。

布施議員

市民アンケートについては、特定住所が分かる物ではないが、やはり分からない人のところに来ると、市がアンケートを取って何かの参考にするのではないかという不安感があると娘が言っていた。LINEで流れてくる場合が結構多い。それが国のLINE調査であったり、個人であったりしても、市民は不安がる。情報発信する際には、そういったものがあるということを、併せてしていただきたい。

マスクの備蓄についてだが、配布の仕方をいろいろ聞いている。それについてはとやかく言わないが、高齢者、妊婦の方、対象はそうだが、若い人でも結構感染する場合が増えている。その場合、市の備蓄を配れとは言わないが、クラスターが発生しやすいようなところに対しては、申請があれば備蓄マスクを配布するようなことをやっていただけたら良いと思っている。三密でも営業しなければいけないところはある。そういう所を対象にして、今後備蓄されたマスクを、申請によって配布する考えはないか。

砂川副市長

先ほど申したように、これまで特に集団感染の心配があると思われる福祉施設や介護施設、小さな医療機関等にも配布させていただいた。これも最初200枚ということでやらせていただいたが、やはり不足しているとのことで追加で第2回の配布もさせていただいた。こういう集団施設については国や県からもマスクの配布作業が進んでいる。他にも民間事業者等で集団でされているところもあると思うが、市がその辺すべてに対応するのは難しい状況であると思っている。

一方で、先ほど申し上げたように議員の紹介で、マスクが中国から入るといった情報をいただき、早束手配もしようとしているので、今後少しずつではあるが、国内でも大手のマスクが生産される。国がまずその辺の買い上げをしていたので、今後一般にも流通するだろうという話も聞いているので、状況を見ながら、市民の皆がお困りにならないような対応はしっかりしたいと思うが、ここで、こういう方にお配りできるということはなかなか申し上げられないのが現状である。ご理解いただきたい。

川神議長
川上議員

その他にあるか。

大きく3つ質問する。先ほど市長メッセージはホームページ上で公開すると言われたが、ホームページを見る人は少ないので、報道機関を前にしてしっかり報告していただきたいのだが。浜田市はこういう対応をしているということを、報道機関の前で言っていただきたい。

2つ目。嗅覚味覚の欠如についての対応はないのか。これについてご検討いただきたい。

発生した場合の対応の中で、浜田市はこういう対応をすると書いてある。市民に対する必要な情報の早期発信とあるが、何をもって早期発信するのかが分からない。

保健所との役割分担による電話相談対応と書いてあるが、役割分担とはどういうことか。

必要物資等の確保と書いてある。この必要物資とは何か。

軽症者の宿泊先等の確保と書いてある。どこをどのような形で借りる

川神議長
砂川副市長

のか。既に検討され、相談されているのかどうかお答えいただきたい。

随時答弁をお願いする。副市長。

報道機関の対応についてはご指摘いただいたように、なるべく市民の皆に多くの方法で情報発信したいと思っている。この場で、できるとはなかなか言えないが、また記者クラブの幹事等とも話しながら、いろんなところで情報発信できるよう努力していきたい。

健康福祉部長

説明資料の症状2のところ、強いだるさ、息苦しさの中に、嗅覚や味覚がなくなること、含まれていると説明させていただいた。こういうことがあったら、帰国者・接触者健康相談のほうへ連絡して欲しい。

役割分担というと、新型コロナウイルス感染症についてはもともと県が対応することになっており、市町村はそのフォローという形になるのでそういう役割分担をしている。裏面に書いてあるが、浜田市は保健所と医療機関の支援ということで、市民に対する必要な情報の早期発信ということになる。浜田市で仮に陽性患者が出た場合は県知事が発信されるので、それに合わせて市がフォローして発信することになる。

保健所との役割分担については、電話対応は保健所が優先されるが、それでは足りない、市民の不安感を浜田市の健康相談で受け答えをする。最終的には表面の、帰国者・接触者相談センターにお伺いする形になる。全部こちらを通して医療機関、帰国者・接触者外来に入ることになるので、そういう形になる。

媒体については記者会見を考えている。県知事が記者会見されるので、それに合わせた市長の会見という形になるかと思っている。

必要物資は、どういう形になるかは分からないが、先ほど言ったように患者等が出たら、まずは会社や家を消毒する形になるが、それを指導するのは保健所になるが実際にするのは、関連会社の方等になるので、それを指導して消毒薬等を浜田市が提供することになると思っている。

宿泊については、今の段階ではPCR検査で陽性が出た方はすべて入院という形になっている。浜田市にはまだ出ていないので、今のままなら入院できることになるが、東京都のようにたくさんの陽性患者が出ると、感染症に関する医療提供施設に入院できなくなった場合、軽症者がホテル等に意志にもとづいて入院することがあった場合ということになる。

川上議員

話を聞く限り、すべて県が動いてからという形になっているようであるが、県が動く前に浜田市として動けることがたくさんあると思う。市長がメッセージを出すことも。県が言う前に市長が出しても良い、何ら問題ない。それから役割分担も、別に県を通す必要もないし、浜田市がやれば済むことかもしれない。

必要物資だが、これは消毒薬だけではない。宿泊先等が確定した場合は、そこへの必要物資が出てくる。そういうことも検討しておく必要がある。今からというのではなく、今すぐやるべきことはこれだと思う。出てからやるのではなく、すべて出る前にやってほしい。別にお金を使わなくとも、先に検討だけしておけば良い。もしホテルに入るとしたら、食事はどうするのか。個人が出すのか。そういうことも全部先に検討すべきだと思う。そうしておけば市民も安心する。そういうことをしないから市民が心配するのである。

砂川副市長

おっしゃるように、自然災害は市が中心に動くのだが、今回の新型コ

コロナウイルスのようなものへの対応は県なり国が中心に動くということで、サポート的なことをすると説明させていただいた。ただ、市としてやるべきことは当然県よりも先にやるべきということは承知している。先般、浜田保健所の所長にもお越しいただき、いろいろな事前協議をさせていただいた。市民の皆に情報提供をしなければならない部分と、一応準備だけしておく部分があると思っている。例えば宿泊施設等については、協議はさせていただいているが、今の段階でどこの施設が使えるといったことを事前に公表しにくい。そういうことは内部では検討も協議もしている。

物資について、先ほどマスクの話もあったが、そういう応援も必要になるかもしれない。浜田保健所からも、浜田市で発生した場合は県で対応できることは、患者をいかに治療したり、医療機関との連携が主になるので、市民の皆への情報発信や関係機関との調整は、市が役割を担うとお話をいただいている。発生してから動くのではなく、今の段階で準備を始めている。先ほど教育委員会から、発生した場合の話が出たが、今後すべての分野で連携しながら、ご指摘いただいたようなことは頭にに入れて対応させていただきたい。

澁谷議員

毎日のニュースを見ていると、この新型コロナウイルスのニュース一色。日本国憲法公布以来、最大の日本国の危機という印象を持つ。先般も福井県勝山市が、子育て世代に対して6万円を配布するとか、大阪が図書券を配布するとか、現金を1万円配るという話も出てきている。総理大臣が3月に小中学校の全面休校を要請するのは前代未聞で、そのくらいの危機的状況になるのを抑えようとするということだったのだろう。その結果、子育て世代の方は仕事をセーブされる方もいらっしゃる。子供をみなくてはいけない等、いろいろな影響が出ていると思う。こういう状況において、売上が9割落ちたり、建設関係でよく聞くのは水洗トイレが中国から入ってこないで完成できない、完成できない物件ばかりを抱えているという話を聞いたりすると、やはり相当な影響があるのではないかと。ここは浜田市も、これまでは市民の皆から税金を徴収するだけではなく、異常事態なので、せめて子育て世代に対して浜田市の共通商品券2万円くらいは配布するべきではないか。そのくらい配布しても費用は2億円もかからない。潤沢な財政調整基金を利用して、ここはきちんと子育て世代に対して経済効果・波及効果もある浜田市共通商品券を配布すべきではないか。そのくらい危機的状況ではないかと思うが、そういうお考えはないのかお尋ねする。

2点目は、感染症病棟が浜田市には4つ、島根県には30床という説明だが、4床ではどう考えても足りないのでは。もし浜田市に発生した場合には。その時の体制で、今医療センターのベッドの確保に対してどのような動きがなされて、都会地のようにホテルを借り上げるとか、どこまで用意すれば良いかという問題はあるかと思うが、もう少し具体的なセキュリティというか、市民の皆が安全になるセキュリティについて、どのような取組がなされているのかお尋ねする。

3点目が、よくPCR検査と聞くが浜田保健所では毎日どのくらいの検査能力があるのか、お知らせいただきたい。

今日見ると、市役所の総合窓口に透明なアクリル板というか、セロフ

ァンで仕切ってあって、大変素晴らしいと思う。思うのだが、各支所もそのようにきちんと職員を守るような仕組みができているのか。今朝偶然部長と出会ったのだが、部長は、総合窓口で様子を見ながら、その他の国民健康保険や福祉部門のほうも検討したいというお話だったが、支所もきちんと対応の現状について、窓口業務の安全性についてお尋ねしたいのと、窓口の職員に対しては市からもマスクを配布されているのか。以上4点お尋ねしたい。

久保田市長

最初の2つについては私からお答えさせていただきたい。まず商品券を2万円分くらい配布すべきではないかというご意見である。そういったご意見もあろうかと思うが、今はまず、感染拡大防止のためにどう取り組むかに力を入れてやっていきたい。経済的な支援も必要な事かと思う、国でもいろいろ考えている。そういったことを見据えながら対応を考えていきたい。まず今は、感染拡大防止に力を入れて全力で取り組んでいきたいと考えている。

2点目の病床数についてであるが、保健所等を含め情報交換・情報共有化はやっている。今数人の発症者が仮に出た場合や、もっと多い人数が出た場合、そういったケース分けをして、その場合にはどういう対応をするかシミュレーションというか、検討はしている。これについては過度に不安が出てはよくないということで、今内々に検討を進めている。浜田市は今そういう状況にはないということなので、検討しているとだけの答弁とさせていただきたい。

3つ目以下については担当から説明させていただく。

健康福祉部長

先ほどのPCR検査については、説明の1枚目にあるように帰国者・接触者相談センターでPCR検査で該当となれば、感染症予防の病院で検体を取り、検査をするのは県内では松江の1か所しかないの、松江まで送ってそこで検査となる。今のところ全県で1日40件の検査ができるようになっていたので、検査するのに今のところ4時間くらいかかると聞いている。時間を決めて浜田市からは送致して、そこで一緒に検査してもらう形になっている。

市民生活部長

現在の総合窓口には、ビニールシートを付けて飛沫がかからないようにという措置をしている。これは海外から、あるいは緊急事態宣言をした都道府県からの転入者があった時のための予防策としてやらせていただいている。現在、浜田では感染者が発生していないので、この状態で様子を見させていただくことにしている。もし浜田で感染が出るようであれば、他の窓口、あるいは支所も含め、飛沫が飛ばないように措置を講じなければならないと考えている。

窓口業務の安全性については、今職員はマスクをつけて対応している。もちろん消毒・手洗いはしているが。マスクが数限られているので、あとは職員自らの手作りマスクをつけるなり、そういった予防策を職員に呼び掛けているところ。

澁谷議員

市長から、感染予防対策を第一に、最善を尽くすというお話だが、報道によると国が108兆円かけて新型コロナウイルス対策すると言っても、実際の真水は16兆円しかない。実際のところ縛りが強く、どなたが貰えるか明確に分からない。そういう危機感の元に国は少しずつ枠を広げる動きをしていて、今のやり方にはスピード感がない。それを補うのが

地方自治体の役目ではないかと思うし。以前、浜田市が真っ先に商品券を配ったことがあった。その時はちょうど今の副市長だったと思うが、その時は全国で一番で。そういうスピード感というか、安心感、浜田市は市民の生活を大事にしている、特に一番苦しいであろう子育て世代に対して真っ先に対応するようなことが必要なのだと思う。国や県がやってくれた後にぼちぼちやるくらいのことだったら、地方自治体の使命や責任がないのではないか。今だからこそ。今50億近い財政調整基金がある。2億なら大した金額ではない。市民の皆から毎年四十数億の固定資産税と法人税を貰っている。そのうちの何パーセントかを還元することは、それほど難しいことではない。そのくらいの危機的状況ではないかと思うのだが、市長の認識はどうなのか。その問題はやはりすべきではないか。

あと、マスクを配っていただいた。大変喜んでいて。中国に送って、市民から、浜田市は市民という家族よりも外国を大事にするのかというご批判もいただいていたので、きちんと対応していただいたことは非常に喜んでいて、実際のところ、まだまだ不足というか売ってない。だからできるだけ集めていただき、枠を広げる。マスクについても枠を広げる努力、そういう努力の姿がなかなか見えないから、お願いしたいと思う。今どういうマスクの手配、マスクが駄目なら先ほど言われたように市民の方にマスクを作ってもらうことを、浜田市が新聞報道を通してきちんと訴えかけるとか。今Youtube等一杯出てくる。何かメッセージをお願いしたい。

3点目の仕切り板についてだが、今の部長答弁でいくと各支所にはそういう仕切り板がついてないのだなど。今日は折角4人の自治区長が来ておられる。安全性に対してそういう仕切り板をつけなくて大丈夫なのか、自治区長にも意見を聞いてみたい。

久保田市長

商品券、あるいは経済対策、もっと力を入れてやるべきだというご意見であった。先ほども申し上げたとおり、今はまず感染拡大防止に力を入れたいと思っている。商品券等々を配るとなると、制度設計、予算をどうするか、対応をどうするのか、また配布するとなると多くの市民の方がお見えになると、それこそ三密の状況を行政が作ることになりかねない問題である。そういったことについては今後国や県の動き等々を見ながら対応を考えると、まずは感染拡大防止に全力を投入したいと思っている。

マスクについては先ほど副市長から状況についてのお話をさせていただいた。今確保策についていろいろ手当をしている。まだ確証は得ていないが、マスクを何とか確保したいと動いている。それだけでは足りないことも承知しており、手作りマスクについても、最初にお話した市民へのメッセージ、石見ケーブルの収録の中に手作りマスクについても、作り方も含めて私から市民の皆に呼び掛けるといったことも、中に入れている。

支所の対応については、自治区長から答弁させていただく。

金城自治区長

本庁の総合窓口では設置されている。支所についてはまだ設置されていない。この必要性については昨日も議論したところだが、まずは人数が多い本庁から優先的にやってほしいということ、その資材については

一緒に確保して欲しいということは話している。当面設置までの間については、窓口にお越しになる方も本庁に比べると限られている、少ないという状況もあるので、毎朝のカウンターの消毒清掃や、距離を少し置いて対応させていただくとか、工夫しながら当面は対応していきたいと考えているが、その時期になれば、設置については早急に対応したい。

旭自治区長

旭は矯正施設の職員等も異動があるので、窓口職員には十分に距離を置いて対応するようにお願いしている。アクリル板については今後必要であれば、早急に対応していきたいと思っている。

弥栄自治区長

職員は皆窓口対応を含め、全員マスク着用して、手洗いの励行ということで、意識のギアを一段上げて感染対策を全員の意識をもって取り組んでいこうということで対策している。

三隅自治区長

昨日の対策本部会議を受けて、支所に帰り窓口の課長を含め検討させていただいた。今のところ早急にという話にはなっていないが、設置費用がそれほどかかるわけではないので、検討次第によってはできるところからやっていきたいと思っている。

西村議員

私は自分が聞いた話から質疑したい。先ほど市長は、まず国の対策が一番だとおっしゃった。確かにそのとおりだが、今の国のやり方を見ると、まずスピードが圧倒的に遅い。それが効果として発揮されるまでに事業者が倒れるのではないかという思いが非常に強くしている。今日の新聞を見てみると、雇用調整助成金の確定した件数が2件だと。全国で。確定が2件。恐るべき遅さではないか。信じられない。このようなペースで果たして倒れない企業が、出ないと想定するほうが難しいのではないだろうか。それを底辺に私が聞いた話として、是非浜田市に対応を考えていただきたいということで申し上げたいことがある。

第一には県大生への対処である。こういう話で相談があった。静岡県から県立大学へ入っていらっしゃる二回生の男子学生である。奨学金5万円、両方の祖母から1万円ずつ仕送りいただき、その上にバイトをやって自分の生活費を稼いでいた。授業料は何とか親に仕送りしてもらってやっている。そういう生活状況だったということだが、今回のコロナ騒動で自分のバイト先である飲食業の仕事が激減し、バイトの口がからなくなった。今月は、この前の土曜1日きり予定が入っているとのことで、収入が1万円にもならないだろうということで、今月の家賃を支払えばたちまち自分の食費も危ういということで、相談に見えた。私も良い知恵があるわけではないので、まずここの商工労働課に行き、ハローワークの紹介を受けただけ。ハローワークと社協に行って相談したが、なかなか今すぐそれに見合うような融資や、有効な手立てはない。最終的には社協で、生活福祉資金を10万円ほど借りるような心づもりで帰ってきた。彼の話によると、バイトをしないで親の仕送りなり奨学金だけでやっている学生は、まず皆無に近い。今の学生は生活資金をバイトで稼いでいる学生が圧倒的に多い。中には自分と同じような状況の中で親元へ帰ってしまった学生もいるということだった。自分はそういう状況だから、このままではアパート代を払ったら食費もないということだった。ぜひ浜田市において考えていただきたいのは、大学と相談して、こういった学生の状況をまずしっかり把握していただきたいということである。その上で、生活福祉資金を仮に借りられても1年後には返さない

といけない。そうすると1年後にバイト先が見つかる補償はひとつもないわけで、この状況がどこまで続くのか誰にも分からない。そういう状況だから、今の学生がずっと学生であり続けられる保証はひとつもないという状況が今、現実にも生まれてきている。そのことを、私は浜田市としてきちんと事実として捉えないといけないと思う。金銭的な面で一番有効な手立てはどのような方法があるのかを、ぜひ考えていただきたいというのが、私の趣旨である。

先ほど言ったように、雇用調整助成金が非常に、おそらく国のやり方がまずいのではないかと思うが、聞いたところによると非常に事務処理が煩瑣で、経験された方のお話だと、煩瑣すぎて、これならもう貰うのを止めようかと思うくらいに複雑で、つきあっていられないというような、非常に煩瑣な事務処理が必要だということである。そういうことも含めてわずか2件しか確定していない状況があるのではないかと思う。

事業者への対応も含めて、結局申請から貰えるとしても貰えるまでに2か月、3か月とかかかってしまう可能性があると思うので、その間に資金繰りができず倒れてしまう可能性もある。私はその間の手当も時には必要な場合もあると思うので、その辺を非常にしっかりと捉えてもらって、その間に有効な手立てを市か県が打たない限りは、倒れなくても良い事業者を倒れさせてしまう可能性が、非常に大きく現実としてあると私は思うので、その辺は事業者あるいは国県と、実態をよく掴んで有効な手立てをぜひ打っていただきたいと申し上げる。大学の件には答弁をいただきたい。

地域政策部長

議員ご指摘のように、大学生の現在の状況をしっかり把握して、それに対して必要な手立てを考えていくことは、至急取り組まねばいけないと思っている。これまで、特に大学生が全国各地から当地にお見えになるので、感染が広がっていく可能性の対応を一番優先すべきではないかということで、いろいろな大学とも協議を重ねてきた。ただ、その後確かに市内のバイト先であるとか、そういう状況も容易に判断できる、推測できることもあるので、すぐに大学とも協議して、対応について考えていきたいと思う。

産業経済部長

個人事業主や中小企業の支援について。西村議員ご指摘の、雇用調整の手続きが非常に煩瑣だというのは私も新聞で見て、何か月かかかるのをやっと1か月に短縮できたというのも記事で読んだ。これはハローワークのお仕事なので私は申し上げられないのだが、今経済産業省では持続化給付金というのを、補正予算がほしい今月の連休前には成立すると言われているが、これが成立次第、この給付金、法人は200万円、個人事業主100万円を限度で支給するという。まだ詳細は分かってないが、そういう事業である。これについてはネット申請を主にして、5月の中旬には配布したいという、国の記事も出ているので、そういったこともしっかり一緒になって、相談窓口等もPRしてまいりたい。

川神議長

その他。

(「なし」という声あり)

皆に願います。冒頭に言ったようにできるだけ内容を簡潔にして、質疑していただくようお願いする。

三浦議員

まず冒頭だが、経験したことないこの新型コロナウイルス対策に対し

て、経験したことのない災害が起こっているわけだから、今までの対応方法でない、大胆そして迅速な対応をまず市長に求めておきたい。リーダーシップに本当に期待している。

その上で、私も含めて浜田市民なわけで、浜田市民が欲しい情報というのは「浜田市がどうなのか」ということである。毎日テレビをつけても、誰が記者会見しているか、総理が会見して、これは国のことだからもちろんそうだが、都知事が会見し、緊急事態宣言を出された7都府県の知事が会見し、施策を打った自治体の首長が会見し。浜田市長のメッセージはどこにあるのか。これだから浜田市民は不安に思うわけである。それで言うと、情報発信、僕がっかりしたのだが、今になって収録か。緊急事態ではないか。収録している場合ではない。ライブで発信されたらどうか。ケーブルテレビの枠がなければ、Youtubeで発信すれば良い。なぜそれをやらないのか。がっかりした。

情報というのは、情報源が正確であること、新鮮であること、もうひとつは分かり易いこと。新鮮であるということは、これだけ時々刻々と状況が変化している中、今日の状況と明日の状況が大きく変わる。収録をいつして、それがいつ流れて、流れる頃にはもう状況は変わっている。このスタンスは非常に重く受け止めていただき、改めていただきたい。それくらい、今の状況を重く受け止めないといけないと思う。

それから、危機管理について。先ほど教育部長からのお話の中に、学校の先生方への出張を、緊急事態宣言が出ている7都府県に限って自粛するようにとあった。なぜか。もう全国である。ここに危機管理の弱さがあるのではないのか。もちろん国や県と一緒に足並み揃えて対応するのは分かる、行政対応として正しいと思う。ただ、島根県の感染者数が今10名、島根県の数をあてにしてどうするのか。

これまで市長は、浜田市の産業振興、経済対策として広島を見据えて広島開拓室、ここが浜田にとってのコアだとやってこられた。それだけ経済圏や我々の生活圏は、松江より広島に近い。広島に感染者が出たのはいつか。島根県よりもっと前である。それだけ人が行き来している広島との関係性を見ながら、対策をいつ打ったのかという話である。非常に遅いと思う。考え方に一貫性がない。島根県の、行政が出す数字というのは1つの指標なので、これは医療体制も含め島根県民の場合は、先ほど部長がおっしゃったように検体を松江に送る。これはシステム上そうになっている、仕方がない。けれど人の移動は行政単位ではない。なのになぜ、島根県が今こうだから、その数字をもとに判断していくのか。政策判断が間違っていると思う。だから遅くなるのである。島根県でこうだから、浜田はこうする、ずっとこのようなことをやっていたら全部後手後手になる。厳しく言うておきたいと思う。

それから、今回の新型コロナウイルス対策についての対応だが、先ほどイベントはすべて中止になっていた。正しいと思う。ただ、今回のこの件について、中止をすることが正解なのではなく、まずは人との接点を極力少なくする、今はこれしか正解がない。専門家の方々がたくさん発言されているけど、今回の新型コロナウイルスがこれだけ蔓延している状況については誰も専門家ではない。そういう状況の中で、右往左往しないでしっかりシンプルに、どういう行動を取ってくださいというメ

ッセージを出していくかが一番大事だと思う。そういう中で、もちろんイベントは中止にする、すべての行政サービスを、接点が生まれるから中止にする、これはまたおかしな話である。だから窓口にはパネルを貼る、支所の方も早く貼るべきである。一律である。人数が少ないからという問題ではない、浜田市としてどうするのかということをしっかりやってほしい。

その上で例えば、浜田・江津、この近隣を見た時に、出産される方々は医療センターへ行く。出産を間近に控えていらっしゃる方、あるいは出産をされた直後の方々、この方々に対して浜田市は、子育て教室のような講座を開いている。今は中止になって、電話対応だけになっている、なぜか。直接会って、三密を避けることが対策だからか。なぜオンラインでやらないのか。工夫が足りないと思う。やるのか、やらないのかではなく、できない時にどうするのか、これが知恵ではないか。私は毎日憤慨している。市民からの声を僕だけではなく皆聞いていると思う。議員だけではなく。いろんな所で不安が飛び交っていると思う。この不安を払しょくするのが市長のリーダーシップではないか。施策ひとつひとつに言いたいことたくさんある、でもそれは今ここでは言えない。とにかくシンプルに分かり易く、時々刻々と変化する中での対応を、浜田市はどうするのか、これをしっかり伝えていただきたい。正確に。僕たちが信じる場所はもうそこしかない。リーダーシップに期待している。

久保田市長

議員のご指摘、もっともである。おおいに反省もし、今後の対応についてしっかり受け止めていきたいと思う。個々についてはそれぞれ、今日部長から言ったが、確かにご指摘のように、首長が市民にしっかりとメッセージを伝える、大変重要なことだと思っている。できることから急ぎ対応してまいりたいと思う。

村武議員

三浦議員の意見に大きく同意する。私今このような事態で、市民の方々にお会いして意見をお聞きすることはなかなか難しいので、私が関わっている団体や、私の知人にLINEを通じて意見をお伺いした。そうしたら、1日ちょっとの時間で約170人の方からお返事をいただいた。これには私も大変驚いている。それだけ市民の方たちがとても不安に感じているということだと思う。

先ほどから出ているが、私はまず市民の方、市の職員も含めて、危機感がとても低いのではないかとと思っている。それに対しては三浦議員も言っておられた市長からのメッセージ、そういったことを強く言われたら、市民の方々も危機感を感じるというところもあると思うが、先ほどから出ている、市の職員の方の対応だが、マスクを着用されているとのことだが、庁内におられる方が全員マスクをされているかというのは私もチェックはしていないが、庁外に仕事で出たときのマスクの着用も徹底されていないと思っている。そのところは徹底していただきたい。

それから、多くの不安というのは、情報提供が少ないから皆が不安に感じておられるのだと思うが。まず学校に子供を通わせている保護者の皆の不安は、先ほど教育部長から、感染症に対する学校臨時休業の考え方についてご説明いただいたが、こういう情報は保護者の皆にはもう伝わっているのか。

それから、先ほど学校の考え方は聞いたが、児童クラブ、保育園の対

応についてはどのように考えておられるか。

それと、県立高校の生徒、これは県の対応になるのだと思うが、浜田市民もたくさん通っているのです、そのところは強く浜田市からも県に要望するべきだと思う。以上のことをお伺いする。

教育部長

休業の関係についてのご質問にお答えする。この件については臨時校長会を開いて、校長を通して周知を依頼している。ただ、保護者の心配の声があり、先ほどお示ししたフローチャートは実は昨夕に市長と協議し、分かり易くすべきだと提案を受けたので、急遽私と教育長とで作成したものである。この協議会

が終わり次第、出

来る限り早急にホームページへのアップと、このデータを各学校に送って保護者への周知をしたいと思っている。

先ほどから出ているように、保護者になかなか情報が伝わっていないということがあるので、最新情報をできるだけ早く伝えるということで。委員会も各学校がホームページを持っているが、学校によって更新頻度が違っている。学校教育課のほうである程度操作もできることを確認しているのです、トップページに基幹情報を載せることも今話している。出来次第、対応させていただければと思っている。

総務部長

職員のマスクの関係について。職員のマスクの着用については、窓口職場については割と早い時期から着けるように指示した。ただそれ以降、マスクがここまで市場に出ない、確保ができない中、先ほども説明があったように、手作りしようということをやっている。議員がおっしゃる、屋外においても着用しようということは周知して、そういうことで感染防止、あるいは自分のことでもあるので、理解して取組もうと指示していきたい。

健康福祉部長

児童クラブについては、教育委員会の参考資料を見ていただき、①の学校が臨時休業になった場合は児童クラブもない。②の濃厚接触者で保健所と協議して学校を臨時休業とする場合は、今回は学校施設の活用を検討して、日中はそこで三密を避けた状態でやって、その後児童クラブ。学校が通常どおりあると、そのまま通常どおり児童クラブもしていくという状況になっている。

また、保育園の対応については、児童、保育所に行っておられる子供、もしくは職員が同居者等で濃厚接触者になった場合は、その子供と職員は2週間登園禁止。子供や職員が発症した場合、もしくは濃厚接触者の場合は、保育園を2週間程度閉鎖となっている。

地域政策部長

県立高校への要望というご指摘だったかと思うが、県立高校はご存知のように県の教育委員会が主管されているので、基本的な考え方はそれに基づくと思っている。ただ、そうした情報が浜田市民の方に届いているのかどうか、あるいは市の小中学校の対応なども含めて、ある程度情報共有していく必要などもあると思うので、しっかりこれから話をしていきたい。

村武議員

先ほど言っていたいただいた情報、今日開示していただいた情報を、しっかり市民の方に届けていただきたい。先ほどからホームページにもアップするとおっしゃっていたが、浜田市のホームページは現在、緊急情報というところをクリックしたら、新型コロナウイルス関係の情報が出てくるかと思う。今、他自治体を見ると、一面に大きく赤い字で新型コロ

ナウウイルスに関する情報という形でバナーを貼って、そこから入る込める方法を使っておられる。市民の方々が見てすぐ分かるような情報提供をしていただきたい。

柳楽議員

これはお願いなのだが、先ほどからYoutubeやホームページやケーブルテレビを活用して、というお話が出ている。最初に西川議員から、防災行政無線の活用という話もあった。ぜひ、市の広報車や防災行政無線を使っていただき、皆が一番聞きやすい時間帯といったところも考えていただきながら、しっかり活用して注意喚起をしていただきたい。よろしく願います。

砂川副市長

これまでもマスク、特に支所エリアは防災無線を使って情報提供をしているし、今後もやっていきたい。広報については少し時間がかかるとおっしゃるかもしれないが、今度の5月1日号にはA3で織り込みを入れることもやっている。それ以外にも必要であれば緊急でさせていただきたいと思う。先ほどあった、いろんな媒体を使って繰り返し繰り返しやっていく。しばらくこれが収まる状況ではないので、まずすぐできること、それから次にやること、ということを繰り返しやっていく。ホームページもなるべく見やすく、トップページに上げるなど、いろんな媒体を使って防災防犯メールも使うし、情報提供はしっかりやっていくよう努力したい。

また、市民の皆からご意見等聞かれた場合は、また私ども執行部にお伝えいただき、改善もさせていただきたい。

柳楽議員

活舌が悪かったかもしれないが、先ほど言ったのは広報紙ではなく広報車、車の方だったので、その辺りも考えていただけたらと思う。

砂川副市長

今の段階で広報車というのは非常に分かりづらい部分もあるので、緊急事態の時は当然そういうこともやろうかと思うが、現在は先ほど来からあるホームページや、防災無線、防犯メールや広報紙等を使いながらやっていきたいと思うし、更に緊急度が高まればいろいろな方法、チラシを配る等も含めてやっていきたい。

野藤議員

3月3日から23日まで学校が臨時休業となったが、年度末でもあるので、授業日数の関係や無履修の関係があるのではないかと考えている。その現状と、無履修の状況と解消方法等について伺います。

教育部長

臨時休業に伴い学校を約1か月休んでいるが、これも校長会で確認しているが、卒業生についてはほぼ2月までで一定の完了をしているとのことだし、他の学年についても一定のサイクルで予習復習を繰り返しているので、それにともなって未履修が大きく出ているところはないという話は聞いている。ただ、国語においては漢字を段階的に習っていくので、その分についてはしっかりフォローする必要があるだろうということまで確認している。

対応についても国からもいろいろ出ているし、あるいは土曜授業も可能にはなっているが、各学校にその辺の判断をお任せしているが、一定の対応はできるだろう。昨年に10連休がGWにあったが、今年はその辺の曜日の関係もあり、3日くらい日数が多くなることもあり、特別な対応をしなくても通常の授業の中で可能だろうと聞いている。ただ、個々の差はあるので、そういった面ではしっかりフォローされるという話は確認している。

芦谷議員	<p>先ほどの、市税等の支払い困難について、この資料を見ると窓口が別々である。ぜひワンストップサービスで、そこへ行けば全部済むようなサービスはできないか。</p> <p>もう1点は、夜間の飲食店の自粛の声がある。市内の夜間の事業についての要請はされるのだろうか。</p>
市民生活部長	<p>市税等いろいろな料金の猶予だが、これは個々に事情があり、やり方も各担当課で違っているので、その担当課で事情をお伺いしながら、いつまで延ばすとか、いつ頃までなら払えるという相談を個別にさせていただくほうが良いと思う。全部一度にやると、これは免除ではなく先延ばしなので、後になって余計苦しくなるので、なるべく個人個人の状況に応じて相談したほうがよろしいかと思って、今は別々の窓口でとなっている。</p>
産業経済部長	<p>浜田市としては夜間の飲食の自粛要請については、今のところする予定はない。</p>
芦谷議員	<p>夜間の飲食店も非常に心配しておられる。これだけ冷え込んでくると、きちんとしたメッセージが要ると思っている。</p> <p>窓口だが、それぞれ違うと思うが、やはりそこは窓口に来れば全部終わらせるようにしないと、なかなか市民の対応が難しいと思う。</p> <p>西村議員の件だが、県大生等いろんな生活相談も、1階の市民ロビー等にそういったコーナーを設けて、いろんな相談を受ける体制を作る必要があると思うが。</p>
市民生活部長	<p>これはもう少し、政府がいろいろな政策を打ち出してくるし、また減免や免除という制度も政府が打ち出すようなので、そういったもの全部を検討してみて、また今後、ひとつにまとめたほうが良いのか、それともそれぞれ専門の課で受けたほうが良いのかは、検討させていただきたい。</p>
西川議員	<p>健康福祉部長、先ほどPCR検査は県で1日40件と言われたが、昨日何件あったかご存知か。</p>
健康福祉部長	<p>県全体の件数はこちらに報告がなく、私も新聞で見た件数で77件だと思っている。</p>
西川議員	<p>その記事を見ると77件。機器と人員を増加して77件出している。そのような情報を私は新聞で見るが、健康福祉部長に県からの情報がないというのが非常に不安なのだが。県がやっている対策、市がバックアップしているというが、情報が県から入っていないのは非常に不安なのだが、それはいかがなのか。</p>
健康福祉部長	<p>なかなか県全体の情報をこちらで仕入れるのは難しい。浜田市の検査対象者数というのは報告があるのだが、どこの市が今何件とか、県全体というのではない状況になっている。</p>
西川議員	<p>このような事態で、県の情報が新聞で見ないと分からない状況だと非常に不安なので、情報伝達・共有は県としっかりしていただきたい。</p> <p>情報提供について、市長のメッセージについては先ほど申ししたし他の議員からもあった。具体的な情報の提供だが、先ほど三浦議員からあった、新鮮な情報が必要である。今されている対策本部会議、昨日まで8回されているが、その情報について、昨日の対策会議後にお聞きしたら、内部協議で内部資料なので提供できないとおっしゃった。市民が必要な</p>

のは、今市が何を議論して何が決まったのかである。他の自治体はこの対策会議の資料をホームページにPDFで公開しているところも多い。それに併せて対策会議における市長のメッセージを載せている自治体も多い。すべて載せろとは言わない。協議中のことを載せるともちろん市民も困惑するし、協議したこと、決定したこと、その対策会議の資料を載せていただきたい。それが市民に一番必要な情報だと思う。検討していただきたい。

砂川副市長

それと昨日も流れてきた、イベント中止・延期の情報だが、ホームページは最新情報ではなく中の情報を書き換えられている。情報を書き換えられても市民は分からない。開けた時に分かる新鮮な情報を届けるようにしていただきたい。これについてご意見を伺う。

対策本部会議の情報提供については、確かに出せるもの出せないものがあると思うが、公開できるものについてはきちんと公開するように努めてまいる。

西川議員

もう1点、教育関係についてお聞きする。先ほどフローチャートにあった右下の、保護者の判断で児童生徒を登校させないことも可能、というところ。合理的な理由があると校長が判断すればとあるが、これについて市民の子育て世代の方からも市への問合せが多かったのではないかと思うが、校長の合理的な判断とは、例えば自分の子供が何か疾患を持っていて、学校にはウイルスはないが蔓延の危険があるからというのが合理的な理由なのか、例えば親の心配だけで行かせたくないという時は、どのような合理的な判断をされるのか。

教育部長

言葉としては合理的な判断とあるが、ここが実は一番校長先生が悩まれるところだと思う。議員がおっしゃったように、単に発生がないところでも心配だからというところと、例えば江津・益田で発生したらどうするのかという、個々の具体例によって判断が変わると思う。その辺を、基本的には各校長の判断ということにしているが、学校によって大きなバラつきがあってはいけないということで、今その辺の基本的な確認事項と判断の方向については、校長会自体も少し話をしたいという声が出ている。現時点ではなかなか具体的なことは申し上げられないが、国からも今回、柔軟な判断と対応をなさいと出ている。通常よりは柔らかく出席停止の判断ができるものではないかと思っている。この辺は保護者の方も心配されているとお聞きしているので、早い段階で一定の方向性を出すことにしている。

西川議員

今の情報だが、フローチャートを作られたばかりのものは、内容を噛み含めて市内の保護者には知らされていない情報だが、いつ周知されるのか。

教育部長

議員さんへも直接お渡ししたように今朝9時半頃に成果品ができたものなので、この協議会が終わった後にできるだけ早くアップしたいと思っている。

笹田議員

私の息子も神奈川へ行く予定だったが、やはりああいう状況なのでまだ浜田にいる。来るなどということなので行ってない。県大に通う息子も5月13日まで休校とのことで、うちは家なので家にいる。いろいろ考えると、市民からある意見では、今市長も感染拡大防止を第一に考えるとおっしゃったが、まさにそのとおりで、Youtubeで早速記者会見を開いて

いただき、市民に強烈なアピールをしていただきたい。どうすれば感染拡大を防止できるのか。先ほどあったように人に会わないこともそうだし、部活動や少年団の話もあったが、では果たして高齢者クラブにはそういう話が行っているのかどうかも疑問だし。やはり感染拡大防止のための強烈で正確なメッセージを出すべきだと思う。

更に、先ほど市長が感染した後のことをあまり言うとも市民が不安になるということも言っておられたが、もう市民は既に不安なのである。感染拡大防止のメッセージを発した後に、もし浜田市で感染した場合を市民に伝えないと、鳥取県知事などは感染者が1人出たときに記者会見をされていたが、全国で4番目の265床を用意しているということもあった。浜田市の医療センターに4床しかないとなると、市民は相当不安に思われると思う。先ほど軽度の感染者をホテルへという話もあったが、果たしてホテルとの協議はできているのか。名前は出さなくて良いが、浜田市は押さえてあると、そういった対応は安心安全のためにしっかり確保しているのだということまでを市民に伝えないと。それが安全安心だと私は思う。これから浜田で生きていく上で。確かに知事のこと島根県では多いと思うので、急に病床数を増やすのは難しいかもしれないが、高齢者も多い、高齢化率も浜田市は高い。そういった中で、松江でクラスターが出た、三次でもクラスターが出た、そういったとき、間違いなく病床が少なくなるのは目に見えているわけで、対策も含めてやっていかないと、安全安心につながっていかない。1日1日変わっていく。島根県も1人だったのがあつという間に10人になった。広島では65人出ている。もういつ浜田市でこういったことが出てもおかしくない。そういった中、SNSでいろんなデマ情報も拡散されている。不確定の情報なので何を信じていいかわからない市民がそれを信じる。具体的には言わないが、浜田にそういった方がおられるだとか、新型コロナウイルス感染者が医療センターで医療を受けているだとか、そういうデマ情報を信用して拡散する。不安なのである。そういった意味でも正確な情報、そしてリーダーがしっかりした発言力をもって、市民の安全安心のために動いていることをアピールすること。すぐにでも記者会見を開いて、記者会見の様子をYoutubeにアップすれば良いのだし、ホームページにもアップすれば良いのだし、そういったことを早急にやっていただきたいのだが、いかがか。

久保田市長

ご指摘もとてもだと思ふ。笹田議員以外の議員からも同様のご指摘があった。実は私も本件については、市の役割という部分でいろいろ考えると、疑問に思うところもあり、保健所等々とも協議させていただいている。まずもって皆にご理解いただきたいのは、島根県においては今回のような感染症の対策をするのは県なのである。保健所は県の傘下である。松江市だけが政令市なので、松江市長の下に保健所が入っている。残り18の市町の保健所等は県の傘下にある。従って、先ほど来皆からいろいろご意見があったが、正しい情報をスピーディに発信してほしいと。私も市民の立場から見るとまったく同じ考え方なのだが、ただ、市長が言えるところというのはやはりある。これは言わないでくれとか、逆に保健所等あるいは県から、それは伏せてくれということがたくさんある。そうした中であって市長が記者会見して、今こうなっている、本

来伝えたいとは思うがなかなかできないところもあるということは、まずご理解いただきたい。

ただ、これは感染者が出なかった場合、あるいは出た場合、それも市内に出た場合、いろんなケースがあるかと思う。当然ながら市内に発症者が出たようなケースの場合には、当然市としてどうするかはかなり前面に立って動かないといけないかと思うが、発症者が出ない場合には、まずは県と。責任者が今知事なので、だからテレビでも多くの自治体はほとんど県知事がやっているのは、保健所を所管しているためである。市長がやっているケースもあるが、これは政令市、簡単に言えば大きな市で、保健所を傘下に持っているところは市長がやっておられる。一般市については情報の問題もあるので難しいところもある。

ただ、議員あるいは市民の皆が思っていること、私も同じように思うところもあるので、できるかぎり正確な情報を早くという思いである。状況に応じて対応が変わってくることはご理解いただきたい。

今日、いろいろ市民の皆からもご指摘を頂戴した。できるだけ速やかに情報をお伝えする、これは市の責務なので、しっかり対応してまいります。

笹田議員

先ほど答弁があったように、島根県が管轄していることは皆分かっている。でも市の人には分からない。保健所に電話してくれと言われるだけで、浜田市がどうすれば良いのかということは、市の人はいちいち県に聞かない。浜田市に住んでいる以上は、その説明も踏まえて市長が大きなメッセージを発するべきだと思う。

あともう1点、今こういった国難と言われているが、未曾有の感染症である。100年前にスペイン風邪が起こった以来のパンデミックと言われているが、執行部と議会が両輪になって、我々も市民のためにできることは一生懸命手伝う。情報発信しかり、いろんなことで新たな情報が出てきたとき、議員も一緒に入れていただき、市民のために働かせていただきたい。我々に正確な情報が入らないと、市民にも正確な情報が入らない。そういった意味で、検討会議に議会としても参加させてくれというお願いをしたところもある。そういった意味では、今後浜田市で発生するかどうか分からない、発生しないに越したことはないが、今のうちに手をしっかり握って、市民のために一緒になって働くことが大切だと私は思うのだが。検討会議も含め一緒にやるつもりはないのか。

砂川副市長

昨日も正副議長とお話させていただいた。対策本部会議、事務的なこともあるが、重要案件を議論しているときもある。今は議会事務局長が議会代表で出ているが、それだけでは十分でないときも当然あるので、正副議長のご指摘も含めて、今話をさせていただいている。議会の皆にもしっかり情報提供させていただき、議員の皆から市民の皆にお伝えいただくことも重要だと思っている。逆に先ほど来あるように、市民の皆の声も私どもに届けていただき、それに基づいて対応もしっかりさせていただきたい。その辺のキャッチボールが十分できるよう努力していきたいと思うので、引き続きよろしく願います。

道下議員

総務部長にお伺いする。先ほど来から、マスクがないという話である。昨日私は市役所に用事があったのだが、マスクをしている職員が半分いたかいなかったか、非常にびっくりした。先ほど総務部長が言った

ように手作りマスクを活用していくことを今からやっていくのだとおっしゃるが、全体で、市役所職員は全員がマスクをするのだといったところ、この2、3日中にそれを確約できるだろうか。

総務部長

先ほども少し申し上げたが、窓口職場においてはマスク着用を指示していた。それ以外についても自分でマスクを準備したり、布やハンカチを使っているものもある。何かを参考にしてという話はしていた。

昨日、私ども職員間の連絡をするところに、こういう形で作るのだというのを改めて、写真もアップして、しっかり作っていこうと話をしているので、職員に対しても接客したり、主には窓口に言っていたが、職員皆もしっかり使っていこうと指示した。

道下議員

ぬるいと思う。明日中には無理かもしれないが、2、3日中には徹底すると言ったところでない。いろんな意見が出ているがいかがか。

総務部長

早急に指示していきたい。

佐々木議員

どうしても気になることが1つある。副市長から、我々議長団も今後は対策会議に入らせていただきたいという話の中で、市民の声をそれを通して聞くという話もあった。逆に不安に思ったのは、こういった危機的状況で執行部、市側が、市民の声をどのように聞く場を設定しておられるのか。あるいはそういう場はなく、一方的に入ってくる声を聞くのみということなのか。その辺を教えてほしい。

砂川副市長

私どもも市民の声をしっかり聞く努力は当然している。例えば市長直行便という制度で、かなりの連絡も来ている。その他、相談窓口を設けているのでそこからも来ている。あとは新聞でいろいろな情報が出たとき、例えばマスクを中国に送って市民にはどうなのかという問合せ、投書、いろいろ意見をいただいている。

逆に私どもが先ほど来言っているように、情報を流したいときはホームページやいろいろな方法で流させていただき、それに対してまた声を聞かせていただくということで、新型コロナウイルスの情報はここへお寄せくださいという一元化はしていないが、ホームページ等においてもそれぞれの所管で電話番号や問合せ先を載せているので、そこへご連絡いただく。特に市長直行便、やはり皆心配しているので、市長に対して直接思いを伝えたいというご意見が多くある。それに対しては1つずつ回答もさせていただいて、こちらの思いが伝わるようにしている。

佐々木議員

直行便にはおそらくいろいろな声があると思うが、市民生活が成り立っていないというのが、一番大きな不安だろう。マスクどころではない。そういった声があつて、国も、先ほど持続化給付金や雇用調整助成金の話もあったが、これは事業主、企業に対することで。普通に生活しておられる方の収入が減った場合の生活給付金、これ極端に減って非課税世帯になったときの30万しか出てない。もともと非課税世帯のかたは更に厳しい生活をしておられることとか、いろんな現場の悲痛の声がある。それを我々議員は拾い上げていると思うのだが、ぜひそういった声を、我々もどんどんお伝えするが、把握する努力も併せて行っていただきたい。

川神議長

その他はよろしいか。今日は多くの議員から、様々な観点から新型コロナウイルス感染対策についての質疑が飛んでいる。市長もお話されているが、議会と執行部は今こそ手を握りながら、市民のためのきちんと

した情報収集と情報発信をしていく必要があると思っている。一層、危機管理意識を持つこと、スピード感を持つこと、そして今後の対策に関してきちんとした浜田市の考え方を持つことを、改めてお願いして、今後、最悪の事態にも備える気概で臨んでいきたい。よろしくようお願い申し上げます。

その他、執行部から報告事項はあるか。

(「なし」という声あり)

では、以上で議題1を終わる。執行部の皆はここでご退席いただいて構わない。

《 執行部退席 》

2 その他

川神議長

議員定数アンケートについて、議員定数等議会改革推進特別委員会、西川副委員長から、アンケートに関する経緯、状況をご説明いただく。

西川議員

牛尾委員長が今日欠席のため、代わりに私からご説明させていただきます。

(以下、資料をもとに説明)

川神議長

ただ今の説明に対する質疑はあるか。

布施議員

このアンケートを取って集計して、市民に向けてのアンケートなので、いつどのような形でこの集計結果を周知するのかお伺いする。

西川議員

具体的な期日についてはまだ委員会で議論してないが、今回取ったものをまとめて次回の、期日は忘れたが委員会で内容をまとめるまで時間がある。その委員会でまとめた段階で市民へは報告しようと思っている。

布施議員

市民の声を聞くのは大事なことだが、議員は自分たちの立場的なものを市民に、またアンケートで人数をやっていくと思っているのだが、市民にアンケートを取って、定数の場合、増やせ、定数そのまま、減という3つの選択肢があると思っているが、出た場合の結果は、議会が最終的に、市民のアンケートをもとに多いほうを決めていくのか、それともあくまでも参考資料として決めていくのか。

西川議員

先ほども新型コロナウイルスの話の中で、想定をしながらやっていると、市民は何のためにこのアンケートを取ったのだと。私も前回、21年から25年の選挙のときに、議員の中では増やせ、そのままだと、極端に減らせという意見があった。市民の方の多くからもそういった意見があった。しかし定数はそのままということがあったので、市民にアンケートを取る以上は、先を見据えてやるべきだという思いがあるのだが、その辺の考え方を。まだ決まってないと言われたが、お伺いする。

先ほど決まってないと申し上げたが、スケジュール的には9月の定例会議において中間、もしくは最終報告、それを目途に委員会の中で議論していきたいと思っている。

市民アンケートの結果について、これはあくまでも参考ということで、議会として定数を決めるのは議会の役割等々を議論した上で決める。もちろん市民の声も参考にするが、市民アンケートの数字を定数にすることはない。

芦谷議員

これを拝見すると、浜田市は非常に分かりにくい。従って、字体を変えろとか、別枠にするとか、そういった工夫があったほうが分かり易い

と思うのだが、いかがだろうか。

西川議員

おそらく議会だよりの紙面の、類団の表のことだと思う。確かに右のほうにあって、白黒反転させればよかったと思う。最終校正におそらく間に合わない、申し訳ない、配慮が足らなかった。これをお願いする。

川神議長

その他にあるか。

(「なし」という声あり)

ないようなので、これでこの問題は終わりたい。

その他議員から何かあるか。

三浦議員

議長にご相談というか。今日は新型コロナウイルス対策の件で執行部から、対策状況についてはお伺いすることができた。正副議長と議運の正副委員長も含めて執行部とお話をされたとうかがっているが、議会基本条例の第5条には、緊急時の議会の対応がきちんと定めてある。ホームページにも、市議会としての危機管理対策ということでフローチャートも示されている。今議長団や議運の正副委員長が執行部と情報交換をされたり、今日の全協を開催するというような、そうした対応策を取られている状況を見ると、まさに議会としてもこの5条に則って、きちんと災害対策支援本部を設置しておくべきではないかと思っている。

まず第一に、今回の全協の冒頭に、開催するかどうかを議論されたように、集まること自体が今後困難になることがおおいに想定される中で、情報伝達経路をきちんと明確にしておく必要性が明らかにあると思う。そうしたとき、全員で集まれないことを想定すれば会派代表制にして情報伝達していくのか、何かしらの対応を取っていく必要があると思うので、その辺りの設置について早急なご検討をお願いしたい。

もう1点、これは先ほど申し上げた話に付随するのだが、今民間の事業者には接点を無くすためにテレワークの推進がされている。これは地方自治法をきちんと確認をした上で、導入するかどうかを検討していく必要があると思うが、この議会においても委員会やあるいは、会議体によると思うが、可能な限りウェブ会議を推奨するというようなことを、ぜひ導入すべきだと私個人としては思う。ただ、冒頭に申し上げたように、法律的な問題、システム的な問題、機器を我々が使用することに対しての意識、いろいろとクリアしなければいけないところがあると思うが、今の状況を踏まえると、こうした対応も想定しておくべきではないかと思う。事務局において研究する、こうした導入を早急に、可能なかどうか、その可否について研究をしていただきたい、ということ、2点、お願いしたい。

川神議長

三浦議員からの2点だが、1点目の、例えば緊急対策本部なるものを議会内部もしくはその辺の体制づくりに関してはとても重要なことなので、先般は執行部とさまざまな議論をして、今後対策会議に対しては入っていくことをお話させてもらったが、議会内部でもそのような組織体をどのようにするかという検討は、早急にしてまいりたい。

2点目のテレワークに関しては、実は今、診療でも初診からオンライン診療というのが、収束する前の特措法として認められている。世の中がそのような形で、接触せずに緊急的に複数の人間で会議するのは、世の中で通常のことになっているので、この問題、先ほど三浦議員が言ったように地方自治法の問題にも鑑みて、更に研究しながら、早急にそう

いうシステムが導入できるのか、緊急時にはそれを使うことができるのかという、準備に関して早急な研究に入りたいと思う。また、随時皆にご報告させていただきたい。よろしいか。

(「はい」という声あり)

その他にあるか。

芦谷議員

先ほど多くの議員から意見があった。ぜひこれはまとめて、議会の総意として市長に対して申し入れることを提案したいと思うがどうか。

川神議長

この件に関しては、ここで私がそうしますというようなことは言わないが、多くの議員から厳しく、市長に対する要望、もしくは今後の対応に関して意見が出ている。それに関してある意味では今日の内容を整理させていただき、改めて執行部にお願いする、そういった形を取るかどうか、これも早急に検討していきたい。

芦谷議員

議会の顔が見えるので、ぜひ書面等にまとめて、議長名で市長に対して申し入れることを期待したいと思うがどうか。

川神議長

皆はいかがか。

笹田議員

その内容によると思うが、内容はどのような形で。議長団に任せるといふ形になるのか。

川神議長

とりあえず今の意見は貴重な提言として受け止めて、至急、内部で検討させていただく。よろしく願います。

その他にあるか。

(「なし」という声あり)

では私から1点。新型コロナウイルス感染症の今後の発生状況や影響にもよるが、本会議、更には委員会等の議会運営における感染予防対策の今後のあり方について検討する必要があると思う。これについてはしばらく様子を見させていただき、5月の連休明けに正副議長ならびに議運の正副委員長とで1つの方向性を決めていきたいと思っている。これはどういうことかということ、6月議会が間もなく開催される。それに関してさまざまな意見があり、一般質問をこのときにやるのか、やらないのか、緊急事態のときにはどの程度の議案をコンパクトに委員会の中でやるのか、こういった問題がある。一応は連休明けがさまざまな形で、1つの判断ポイントになると思っている。議会運営や委員会の開催に関しても、どのような形をしていくのかということ、方向性を連休明けの時点で、国の動向、県の動向、ただ浜田市としてどうするかということ、議会内部でも至急検討したいと思う。その辺りは流動的な運営が考えられるということ、皆にご理解いただきたいと思いますのと、また意見を議員の皆からもしっかりと聴取していきたいと思うので、その辺りは少し時間をかけてみたいと思う。よろしく願います。

それでは局長から願います。

古森局長

1点だけお知らせする。皆には既にお知らせしているが、ケーブルテレビで浜っ子タイムズの、「市民目線で議会改革にまい進」ということで、正副議長が出演される番組が、今日の5時半から15分間ある。1時間おきの繰り返し放送になっているので、ご覧いただきたい。

川神議長

その他議員からあるか。

(「なし」という声あり)

以上で全員協議会を終わる。

〔 12時 32分 閉議 〕

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 川 神 裕 司